

緑が丘

学校教育目標

自ら考え
正しい行動のできる
心豊かな生徒の育成

緑が丘中学校
学校通信 NO.3
令和5年6月1日

自ら考え判断し、正しい行動がとれる人に

桜の季節が過ぎ、サツキも終わり、アジサイの花が色づく時季になりました。5月29日には、近畿地方の梅雨入りが発表されました。近畿地方の5月の梅雨入りは2013年以来10年ぶりのことです。6月3日(土)の体育祭を控え天気が非常に気になります。

学校では、第48回体育祭に向けて全校練習、学年練習、そして放課後の学級練習に取り組んでいます。体育館からはソーランの音楽と迫力ある掛け声が聞こえてきます。その他にも大縄跳びや学年演技、リレーの練習も行っています。クラスで勝利を目指し頑張るなかで時にはぶつかることもあるでしょう。それを乗り越え、目標に向けてみんなで考え努力することが大切です。結果心を合わせて練習する過程が大切なのです。だからこそ、勝っても負けても思い出深いものになるのです。全力で取り組む姿、全力で応援する姿が、そこに集う人たちをきっと感動させることなのでしょう。素晴らしい体育祭になることを願っています。



夕日に染まる校舎

さて、最近校則が話題になるようになりました。本来、校則はルールを理解や自制心をはぐくむことを目的で決められたものです。校則の原型は1873年に文部科学省より発表された「小学生徒心得」であるとされています。そこには、授業中は雑談をしてはいけないなど、常識的な11のルールが定められていたそうです。しかし、1980年代になって校内暴力や非行の管理を目的として厳しさを増すとともに細分化されるなど本来の目的から外れたものになっていきました。中には防寒着の着用禁止など人権や健康などを脅かす恐れのある不合理な校則が出てきたのも事実です。

緑が丘中学校でも靴下の自由化に続き昨年度、制服の夏服と冬服の移行期間をなくしました。生徒会から①気候が変わり移行期間が実態にそぐわなくなった、②人によって暑いや寒いと感じ方が違うという理由で提言がありました。大切なことは何だろうと生徒会の皆さんと検討を重ねました。そして、「自分で考え制服を、きちんと着用することこそが大切だ」という結論に達しました。このことを生徒の皆さんも納得したうえで移行期間をなくすことが実現したのです。それが早くもいい加減になってきているようです。このことに限らず、普段の生活でのルールを守ることができているでしょうか。少しくらい構わないとみんながいい加減になるとまた細かなルールを決めなくてはならなくなります。自分が判断を任されているという自覚を持つこと。自由には責任が伴うということ意識し、自ら考えて正しい判断をし、行動することを実践してほしいと思います。それが大人への第1歩です。



校長 西臺 士郎

《個性豊かな学級スローガンのもと
日々成長をし続けています！》

- 1-1 37(みな)でHAPPY 1の1
～一致団結、一組団結～
- 1-2 足し算
～自分にプラス みんなにプラス～
- 1-3 シャーペン
～失敗しても最後までやりきる～
- 1-4 支え 教え 認め合え！
- 2-1 全力投球～笑顔添えて～
- 2-2 全カスマイル2-2
- 2-3 優元実幸^{ゆうげんじつこう}～やっちゃえ2-3～
- 2-4 個性認め合う31人～全力で楽しむ～
(後藤先生しか勝たん～個性ブラボー31～)
- 3-1 Challengers～全力・努力・協力～
- 3-2 獅子搏兔～どんな時も全力で～
- 3-3 奮励努力～いつも笑顔 いつも本気～
- 3-4 YDS やれば できる しゅんランド

1学期が早くも半分を過ぎました。自分の成長を感じながら、これからの学校生活を送って行ってほしいものです。

《第48回体育祭に向けて
練習頑張っています！》

全校練習、学年練習のほかに、各クラスでも放課後を中心に、体育祭の練習に取り組んでいます。



体育祭の当日の天気が心配ですが、台風2号や梅雨前線の雨雲を吹き飛ばすくらいのパワー全開で、残りの練習に励みましょう！



6月の行事予定表は、保護者専用ページに載せています。